

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：社会経済システム論 ILAS Seminar :Socio-Economic Systems	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,SHIBAYAMA KEITA		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Wed.5
Classroom	1306, Faculty of Integrated Human Studies			Language of instruction	Japanese
Keyword	グローバル化 / 民主主義 / ナショナリズム / 近代化 / 戦争と平和				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

現代はグローバル化の時代であると同時に、国家間の対立や緊張が高まる時代でもある。なぜ経済的な結びつきが深まっているにもかかわらず、戦争の危険が高まってしまうのか。なぜポピュリズムと呼ばれる過激な政治が現れるのか。この授業では、現代のグローバル化した世界で生じている問題を取り上げて、講義による解説と、参加者による報告・討議を行う。
これから社会科学を学ぶ学生に、現代世界の直面する課題への関心を広げてもらうのが、この講義の目的となる。

[Course objectives]

グローバル化する現代世界への理解と関心を深めること、およびそれらの問題に関する基礎知識を身につけることが目標となる。

[Course schedule and contents]

第1回～2回
イントロダクション

第3回～第7回
講義は、以下のトピックを考えている（必要に応じて参考文献のコピーを配布する。）
・グローバル化の歴史と現在
・民主主義の後退
・ナショナリズムの再燃
・新興国の成長と「圧縮された近代」
・「文明の衝突」？

第8回～第14回
参加者各自の関心に基づく報告と討議。各自の報告テーマについては、授業中に相談して決定する。

ILASセミナー : 社会経済システム論(2)

第15回
フィードバック

講義はゼミ形式で行われるため、積極的な発言が求められる。欠席がちの者は、単位を取得できない。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

報告(30%)、出席と参加の状況による平常点(30%)、およびレポート(40%)による評価。詳細は初回講義時に示す。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

報告の準備に際して、インターネット上の情報のみに頼るのではなく、図書館の資料を効果的に利用してもらいたい。詳細は講義時に説明する。

[Other information (office hours, etc.)]

報告内容の相談等は講義後に行う。